

平成26年度 指定管理業務 実績評価シート

・市民文化スポーツ部
部課名 文化スポーツ振興課
・観光振興部観光政策課

施設名	岩木山総合公園・そうまロマンチックピアスキー場・岩木山百沢スキー場
施設の設置目的	市民一人一人の健康増進と体づくりのため、児童・生徒から高齢者まで各世代にあった各種競技スポーツ及び生涯スポーツとして軽スポーツ・レクリエーションスポーツの普及・推進を図るため、並びに観光・レクリエーション等の余暇活動の場を提供することにより、観光・地域振興を図り、併せて市民の冬期間の健康増進に資するため設置したものである。
所在地	別紙
指定管理者名	一般財団法人 岩木振興公社
指定期間	平成26年4月1日から平成36年3月31日まで
1 事業計画の実施状況	<p>維持管理業務を適切に実施し、安全管理に努めるとともに、地域住民の健康増進を図っている。</p>
2 自主事業の実施状況	<p>スポーツ大会や教室の開催に加え、周辺地域の子供たちの健康増進事業や施設周辺の自然を生かした事業を実施している。</p>
3 市民サービス向上のための取組状況	<p>市内中心部から離れた施設であり、交通アクセスの問題解消のため無料シャトルバスの運行や、休日当番医を掲示し、万が一の対応に備えるなど、利用しやすい環境と安全管理に取り組んでいる。</p>
4 市民ニーズの把握の実施状況	<p>大会参加者や宿泊者にアンケートを実施し、要望の把握に努めている。</p>
5 施設の利用状況	<p>利用件数・人数とも、前年を上回る結果となっている。特に件数に関しては大きく伸ばしている。</p>
6 指定管理業務の収支状況	<p>予算執行は計画的で適正に行われている。</p>

7 実地調査の結果

経理区分について指定管理業務と自主事業の区分けをはっきりする必要があるが、概ね基本業務は適正に行われている。

8 成果指標の達成度

天候の影響により成果指標を下回った野球場を除き、利用件数・人数とも上回った。

9 評価

(1) 指定管理者の自己評価

評価区分	評価	評価の説明	今後の課題と対応
施設の運営	B	適正に実施されていた。	利用者ニーズを把握し、利用者へのサービス向上に努める。
施設の管理	C	26年5月、管理棟浴室においてレジオネラ菌が検出された。市への報告、情報公開を経て改善対策を講じ使用再開及び再発防止対策を適切に行った。	利用者の安全を第一に、適正な管理に努める。
経理の状況	B	適正に実施されていた。	常に収支状況を把握し、情報整理に努める。
団体の財務状況	B	問題がない。	公益目的支出計画を遂行しながら、管理運営にあたる。

(2) 市の指定管理者に対する評価

評価区分	評価	評価の説明	今後の課題と対応
施設の運営	B	概ね基本的な業務を忠実に実施している。	職員の担当業務区分の適正化
施設の管理	C	概ね基本的な管理は実施しているが、浴室管理の不備による事故が発生している。	適正な維持管理
経理の状況	B	問題なく適正に執行している。	経理区分の見直し
団体の財務状況	B	特に問題無いものと思われる。	特になし

【評価の視点】

評価区分	評価の視点
施設の運営	法令等の遵守、使用許可、市の指定事業、付随業務、自主事業、公平性、職員配置・研修、開館時間・休館日、職員の接遇、利用者ニーズの把握・反映、事業計画の実施状況、業務報告など
施設の管理	利用者の安全対策、施設・設備の維持管理、個人情報の管理、文書等の管理、備品等の管理、緊急時対策、災害対策など
経理の状況	帳票等の整備、経理の区分、収支状況、経費の削減、帳簿等の保管状況など
団体の財務状況	安定的な施設の管理が可能な経理的基盤を有しているか

【評価の基準】

A	協定書・基準書等の内容を超える管理運営が行われたと判断できるもの (適正な管理運営に加えて、更なる取組みや成果があると評価できるもの)
B	協定書・基準書等の内容を概ね適正に実施していると判断できるもの (軽微な改善点はあったが、速やかに改善されているもの)
C	協定書等の内容に対して改善点はあったが、適切な改善策が講じられているもの
D	協定書等の内容に対して不履行があるものや、改善がなされていないものがあるもの

※「団体の財務状況」の評価基準

B	問題がない
C	今後に注意を要する
D	早急な改善を要する

別紙

番号	名 称	所 在 地
1	岩木山総合公園	弘前市大字百沢字裾野195番地1
2	そうまロマンチックスキー場	弘前市大字水木在家字桜井44
3	岩木山百沢スキー場	弘前市大字百沢字東岩木山1番地1 東岩木山国有林内